

令和6年度 第4回 豊田市井郷地域会議 会議録

| | | | |
|------|--|------|---------|
| 開催日時 | 令和6年8月21日(水) | 開会 | 閉会 |
| | | 午後7時 | 午後7時55分 |
| 会場 | 猿投コミュニティセンター2階 大会議室 | | |
| 出席者 | 地域会議委員：16人 | | |
| | 会長：磯村 貴史 副会長：加藤 真郎 | | |
| | 委員：池田 秀夫 伊東 由岐雄 伊藤 璃那 後田 澄夫 梅村 秀明 浦野 みち子 加藤 俊治 新宮 敏雄 杉坂 正美 杉山 寿人 林 輝雄 林 文吾 福岡 信明 藪原 勇 | | |
| 欠席者 | 0名 | | |
| 傍聴者 | なし | | |
| 事務局 | 猿投支所：梅村副支所長、宮石担当長 | | |
| 内容 | <ol style="list-style-type: none"> 1 豊田市民の誓い 2 会長あいさつ 3 地域課題解決事業の検証 4 令和6年度の地域課題解決事業について 5 令和7年度の地域課題解決事業について 6 わくわく事業の現場訪問について 7 情報共有・事務連絡 | | |

■ 議事（要約）

3 地域課題解決事業の検証

事務局が資料に基づき説明

委員：下古屋自治区では新たに市が整備した公園の環境美化に地域住民で取り組んでいる。環境整備が整っていることで犯罪抑制につながっていると考えている。

委員：環境美化活動が防犯意識の向上に直接的に寄与したと断定するのは難しいのではないかと。「寄与したと思われる。」という言い回しであれば、次の項目との整合性も図れると思う。

委員：環境美化活動が防犯意識の向上につながっているとは思えない。

委員：既存の条例、制度を使うのではなく、街路灯や門灯の設置について新たな補助金を設けていく等の意見の記載が必要ではないかと思う。

事務局：直接制度設計をすることはできないが、提言する必要があるという意見は反映できると思うので、修正し次回の地域会議で確認頂きたい。

4 令和6年度の地域課題解決事業について

事務局が活動写真に基づき説明

意見、質問なし

5 令和7年度の地域課題解決事業について

- ・事務局が資料に基づき説明

委員：キッズゾーンの設定についてお聞きする。キッズゾーンは地域課題解決事業の中で設置されたものか。

事務局：キッズゾーンは、ゾーン 30 区域内にあるこども園等の付近に設置していると聞いている。今回の設置については、地域課題解決事業ではなく、他課の事業で設置したものである。

委員：2023年の予算が2025年の3倍であるが、具体的な事業はどんなものか。iプランが終わった後、廃線敷の管理費は継続されるのか。

事務局：2023年は、散策路整備とグリーンベルトを設置した。廃線敷は市所有地であるため、今後についても年2回であるが草刈管理は、継続していく予定である。

委員：人と車の危険、人と自転車の組み合わせも危険度が高いと思う。自転車の運転者への取組も必要ではないか。自転車は高齢者も乗っているし、通勤利用の自転車利用者も危険運転している状況がある。

事務局：市ではヘルメットの購入助成を行っている。自転車利用者のマナー向上についても取組に入れていきたい。

委員：ペースカーは予算措置がないが、どのように実施するのか。

事務局：今年度ペースカーについての啓発物品を作成配布する予定であるため、次年度に必要経費は計上していない。

委員：どこかで危険箇所に対策を講じて、モデル事業としてはどうか。

委員：ペースカーについて、自分も孫を送迎しているが、30キロ速度規制がわかりにくいと感じている。もっと認知度を上げていく取組が必要だと思う。自分はペースカー活動に参加したい。

事務局：頂いた意見をもとに、事業計画書を修正する。

事務局：アンケート調査のための予備調査に協力頂きありがとうございました。意見を踏まえたアンケートを現在作成しています。

6 わくわく事業の現場訪問について

- ・御船の川と環境を守る会

上記団体の活動状況を事務局より報告

7 情報共有・事務連絡

(次回の予定)

日時：令和6年9月18日(水) 午後7時から

場所：猿投コミュニティセンター 2階 大会議室